

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 8 日 (2009.1.8)

【公表番号】特表 2007-530675 (P2007-530675A)

【公表日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-042

【出願番号】特願 2007-506135 (P2007-506135)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/28 Z N A

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 1/00

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 14 日 (2008.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 によりコードされるタンパク質に結合する、モノクローナル抗 C S 1 抗体または抗 C S 1 抗原結合フラグメントであって、

配列番号 6 9 に対応するアミノ酸配列、配列番号 7 0 に対応するアミノ酸配列、および配列番号 7 1 に対応するアミノ酸配列を含む、抗体または抗原結合フラグメント。

【請求項 2】

配列番号 7 2 に対応するアミノ酸配列、配列番号 7 3 に対応するアミノ酸配列、および配列番号 7 4 に対応するアミノ酸配列をさらに含む、請求項 1 に記載の抗体または抗原結合フラグメント。

【請求項 3】

ヒト化された、請求項 1 または請求項 2 に記載の抗体または抗原結合フラグメント。

【請求項 4】

I g G 1 である、請求項 1 ~ 3 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメント。

【請求項 5】

配列番号 6 7 に対応するアミノ酸配列および配列番号 6 8 に対応するアミノ酸配列を含む

、請求項 1 または請求項 2 に記載の抗体または抗原結合フラグメント。

【請求項 6】

エフェクター部分および / または検出可能な部分に連結された、請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメントを含む、結合体化化合物。

【請求項 7】

前記抗体または抗原結合フラグメントが、検出可能な標識に結合体化された、請求項 6 に記載の結合体化化合物。

【請求項 8】

前記検出可能な標識が、放射性化合物、蛍光化合物、酵素、基質、エピトープタグ、または毒素である、請求項 7 に記載の結合体化化合物。

【請求項 9】

前記エフェクター部分が、毒素、化学療法剤、免疫調節物質、または放射性同位体である、請求項 6 に記載の結合体化化合物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメントを含むか、あるいは

請求項 6 ～ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の結合体化化合物を含む、
薬学的組成物。

【請求項 11】

治療において使用するための組成物であって、

請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメント、あるいは

請求項 6 ～ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の結合体化化合物
を含む、組成物。

【請求項 12】

癌を処置するための組成物であって、

請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメント、あるいは

請求項 6 ～ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の結合体化化合物
を含む、組成物。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の組成物であって、前記癌が形質細胞癌である、組成物。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の組成物であって、前記形質細胞癌が、多発性骨髄腫、骨の骨髄腫、
髄外性形質細胞腫、マクログロブリン血症、重鎖病、原発性アミロイドーシス、または意
味不明の単クローン性高ガンマグロブリン血症である、組成物。

【請求項 15】

請求項 12 に記載の組成物であって、前記癌が非形質細胞癌である、組成物。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の組成物であって、前記非形質細胞癌が慢性リンパ球性白血病である
、組成物。

【請求項 17】

過粘稠血症候群を処置するための組成物であって、

請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメント、ある
いは

請求項 6 ～ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の結合体化化合物
を含む、組成物。

【請求項 18】

自己免疫疾患を処置するための組成物であって、

請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合フラグメント、ある

いは

請求項 6 ～ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の結合体化合物を含む、組成物。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の組成物であって、前記自己免疫疾患が、全身性紅斑性狼瘡（SLE）、炎症性腸疾患（IBD）、血小板減少症、関節リウマチ（RA）、溶血性貧血、または重症筋無力症である、組成物。